

LIXIL

リビング建材

プレカット階段
(イージープレカット)

取付け説明書

目次

■取付け前のご注意とお願い・取付けのポイント	1
※取付け前に必ずお読みください。	
■プレカットの加工内容	2~4
1 踏板・踊り場・上段框	2
2 側板	3
3 廻り側板	4
■各部材の接合と納まり（段鼻柱芯）	
（床－側板－廻り側板－廻り側板－側板－上階床）	5
■各部材の接合と納まり（蹴込柱芯）	
（床－側板－廻り側板－廻り側板－側板－上階床）	6
■廻り側板の接合と接続基準点	7・8
1 基本接合	7
2 段鼻をずらす	7
3 柱面より内側へずらす	8
■基本プランと取付けのポイント（一般例）	9~12
1 2段廻り	9
2 3段廻り	10
3 4段廻り	11
4 6段廻り	12
側板・廻り側板の接続用溝加工を選択した場合	13

取付け前のご注意とお願い・取付けのポイント

■取付け前のご注意とお願い

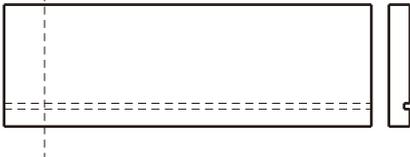
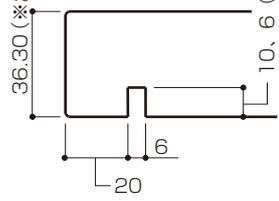
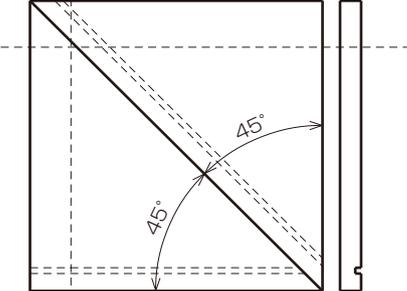
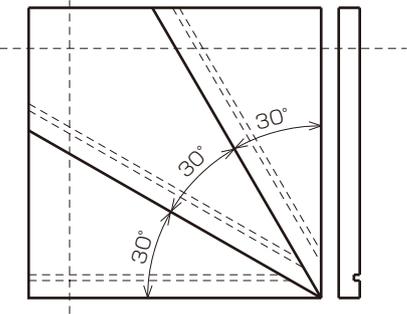
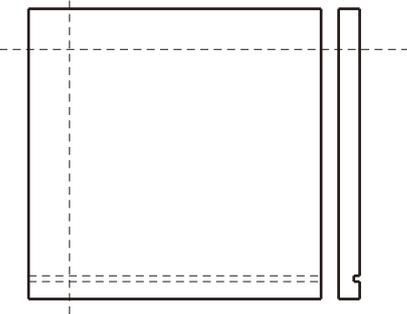
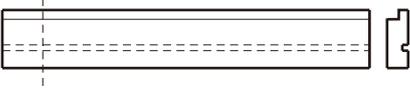
- 取付け前に各部材を必ず検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い上げ店までご連絡ください。取付け後の色調・木理具合・キズなどによる交換は、お受けできませんのでご了承ください。
- 集成タイプは集成材を使用しており、天然木特有の微妙な色柄が持ち味となっています。部材の取付け前に必ず、仮並べをして色柄を組合わせてください。
- 本製品は屋内用です。土足で使用する場所や水がかかったり、極端に湿度が高い所には使用できません。万一、濡れた場合は、すぐに乾いた布でふき取り、乾燥させてから養生してください。（基材の膨れや化粧単板のワレ・シミなどの原因となります。）
- 運搬・加工時にはキズを付けないよう丁寧に取扱ってください。又、開梱状態で水がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。（ソリ・ねじれなどの原因となります。）
- 階段取付け部の柱が垂直および水平方向に直角となっているか確認してください。又、廻り側板どうしは、必ず直角となるように取付けてください。
- 側板・廻り側板は、必ず取付け場所に段割の墨出しをしてください。又、捨てベニヤなどに廻り踏板の原寸をおこして、納まりと取付け位置を確認してから切断してください。
- 側板・桁・親柱などを受ける床下部分には、梁や大引などの受け材が必要です。廻り踏板や踊り場の下地にも、根太など補強材を入れてください。踊り場の下地には60×30mm以上の補強材を必ず組上げてください。（ねじピッチ303mm以内）

■取付けのポイント

- 躯体（柱）との取付けに、釘・ねじなどを使用する場合は、部材の割れを防止するため、使用する釘・ねじの5～7割程度のガイド穴をあけてください。
- 部材どうしを接着する場合は、塗装面を十分に荒らしてから接着してください。
- 部材の接着は、市販の木工ボンドで可能ですが、踏み鳴りやガタツキの予防や、より強度が必要な場合には、下記の接着剤をおすすめします。
階段部材……コニシ：ネダボンドW1000
手すり・子柱……エポキシ系（セメダイン：PM-165）
- 取付け後は木くず・砂・ゴミなどを完全に取除き、養生シートやベニヤなどですき間なく養生してください。その際必ず、有償部品で設定している養生テープをご使用ください。市販のガムテープなどは粘着力が強いため、化粧板や塗膜のハガレの原因になります。
- ホコリ・軽い汚れは乾いた布でふき取ってください。
- 取付け完了後48時間（接着剤の硬化時間による）は不要な力をかけないでください。接合部の接着不良によるガタツキなどの原因となります。
- 集成材仕様の取付けについて
 - ・無塗装品については、必ず表面と裏面も現場で塗装を行ってください。
 - ・集成材は湿度の変化により木材特有の伸縮が発生し、取付け後にソリ、亀裂、すき間などが発生する場合があります。十分に補強を行ってください。
- 取付け中に誤ってキズを付けてしまった場合は、有償部品で設定しているリビング建材補修キット、補修液、補修用ウッドパテで補修してください。詳細はカタログでご確認ください。

プレカットの加工内容

1 踏板・踊り場・上段框

部材名	加工内容	略 図	特記事項
踏 板		(踏板幅選択) 	間口方向は現場カットとなります。 踏板幅は発注時に選択となります。
2段廻り踏板	●蹴込溝加工詳細 		図は右廻りを示します。 間口方向は現場カットとなります。
3段廻り踏板			図は右廻りを示します。 間口方向は現場カットとなります。
踊 り 場			間口方向は現場カットとなります。
上 段 框			間口方向は現場カットとなります。 12mm厚床材をのせるしゃくり加工済です。

※1：集成タイプは10mm、ベシックタイプ・Sタイプは6mmとなります。

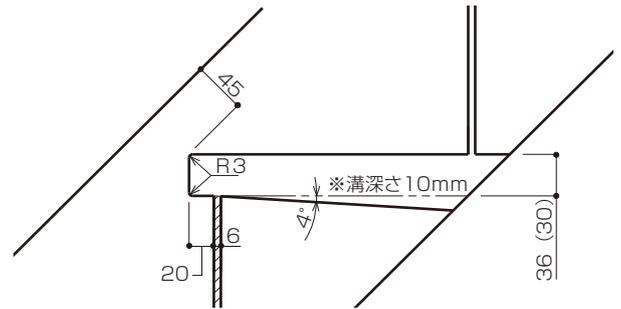
※2：Sタイプは30mmのみの設定となります。

2 側板

部材名	加工内容	略 図	特記事項
側板	踏板大入れ加工 (深さ10mm) 蹴込板溝加工 (深さ10mm)		<ul style="list-style-type: none"> ●部材上端切りっぱなし。 ●上段枠の大入れ加工なし。 (現場加工) 上段枠下の蹴込溝加工まで。 ●踏板加工溝は、鼻段から蹴込溝まで平行カット、後部は4° 傾斜付きです。 ●側板の上下連続加工 (側板の木取り方) 側板のAとB、A'とB'は、つなげて加工してあります。つなぎ目の間隔は2.5Pです。

- 上下端部は現場の納まりに応じて切断後、同梱の木口材を張ってください。踏板を取付ける場合は、必ず堅木のくさびを使用してください。

■踏板加工詳細図

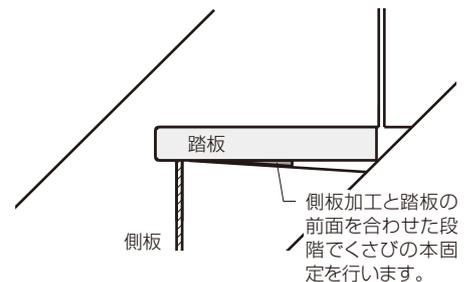
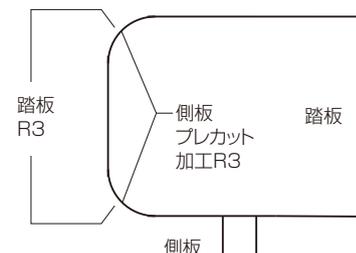
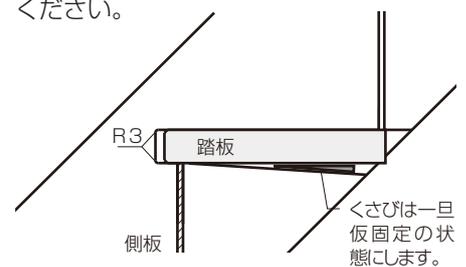
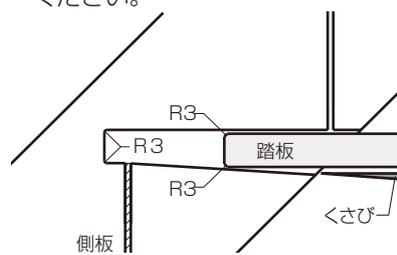


●階段を固定する際のご注意

踏板的奥行き寸法とプレカット加工寸法には公差があり、場合によっては、蹴込板と踏板との接合部にすき間を生じる可能性があります。目立たない部分にできるすき間であり、仕様上問題ではありません。しかし、こちらのすき間をなくしたい場合は、蹴込板を入れる前に、側板の蹴込溝を現場でノミで削って調整してください。

■くさびを打ち込むときのお願い

- ①踏板的側板の後方より打ち込んでください。
- ②踏板的側板のR3加工の手前まで入ったところでくさびを入れ仮固定してください。
- ③踏板的打ち込み、踏板的側板加工の間のすき間をなくしてください。
- ④くさびを本打ちして、踏板的固定してください。



※すき間がある状態でくさびを本打ちした場合、側板加工の上部に踏板上面が強く抑えつけられ、食い込み量が増加し、結果側板がめくれあがる現象が発生いたします。

3 廻り側板

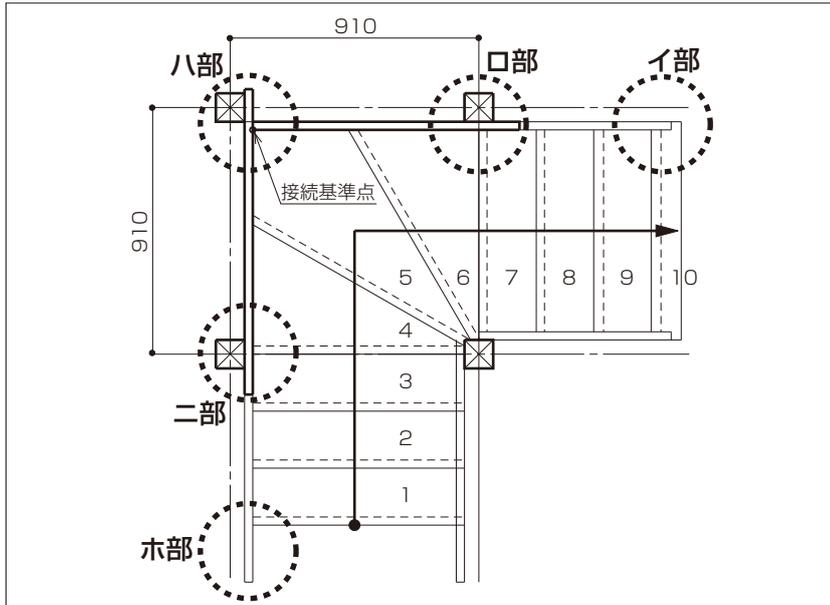
部材名	加工内容	略 図	特記事項
廻り側板	踏板・蹴込板とも大入れ加工 (深さ10mm) ※蹴込溝加工は廻り側板に直角加工。	<p>●廻り側板 (6段廻りの場合)</p> <p>●廻り側板 (3段廻りの場合)</p> <p>●廻り側板部材加工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●部材上下端切りっぱなし。 ●最上部踏板加工なし、蹴込板加工まで。 ●踏板加工溝は段鼻から蹴込溝まで平行カット、後部は1.8° 傾斜付きです。 ●6段廻り側板と3段廻り側板加工のA、Bは同一加工となります。 <ul style="list-style-type: none"> ●上段廻り側板Bと下段廻り側板Aは、柱芯々寸法が1000mmまではL=2400の廻り側板1本に、芯々寸法が、1000mmをこえるとL=3000の廻り側板1本に加工されます。 <p>●切断方法：</p> <p>ハッチング内幅150mmの中で、納まり・つなぎ方を考慮して切断してください。</p> <p>※踏板の納め方によっては、基準点をこえて切断する場合もあります。</p>

●接続基準点は、廻り側板柱直付け・段鼻柱芯または蹴込柱芯の場合の側板内接面入り隅部です。

※壁厚や納まりの対応で、接続基準点をずらして取付ける場合は、【P.72段鼻をずらす】の側板の接合と接続基準点を参照してください。

各部材の接合と納まり (段鼻柱芯)

床—側板—廻り側板—廻り側板—側板—上階床



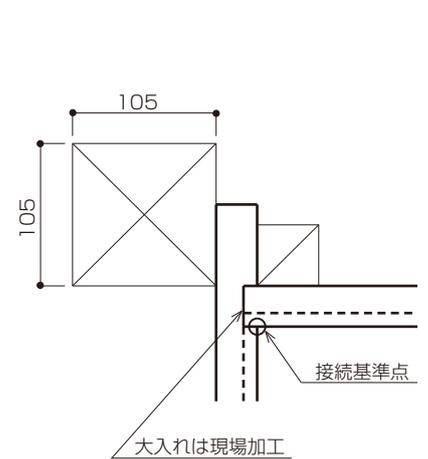
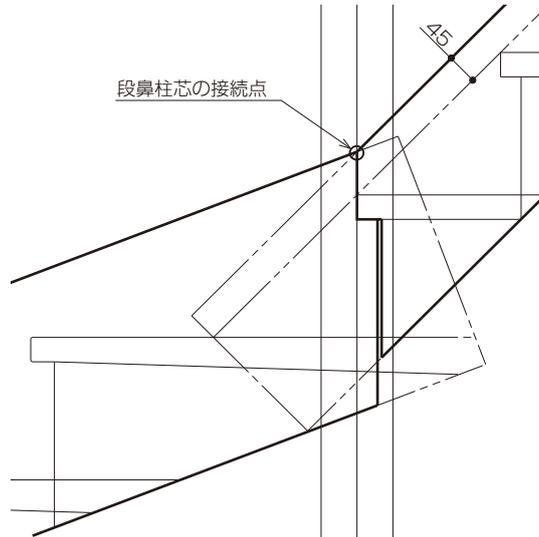
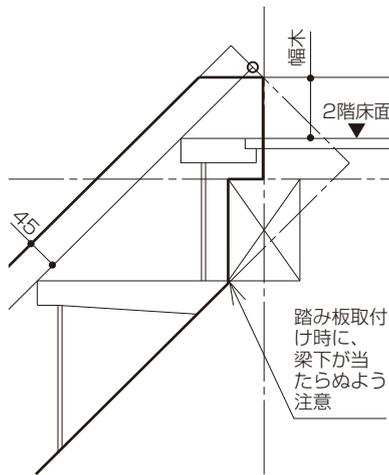
※納まり図は段鼻柱芯の場合の図を示しております。

※段鼻の設定位置によって、側板と廻り側板の接続位置は変わりますので、必ず躯体に墨出しして納まりを確認してから仕口の切断・加工してください。

■イ部詳細図

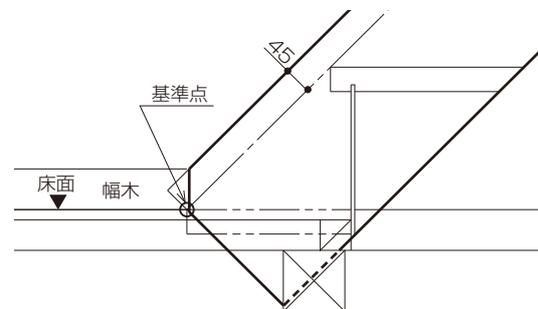
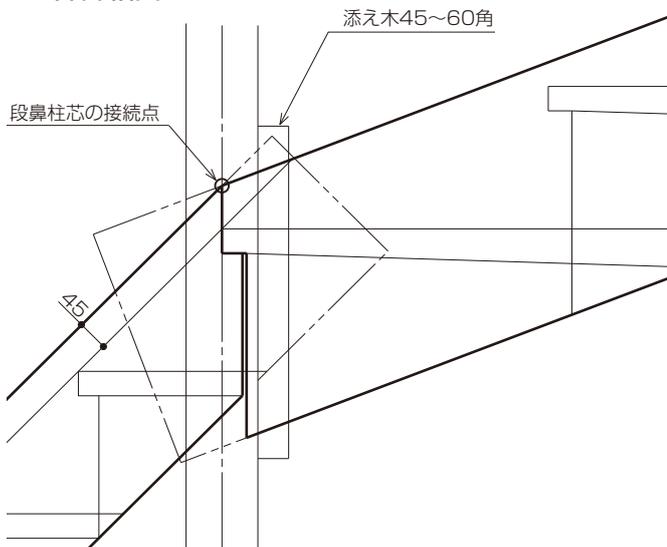
■口部詳細図

■八部詳細図



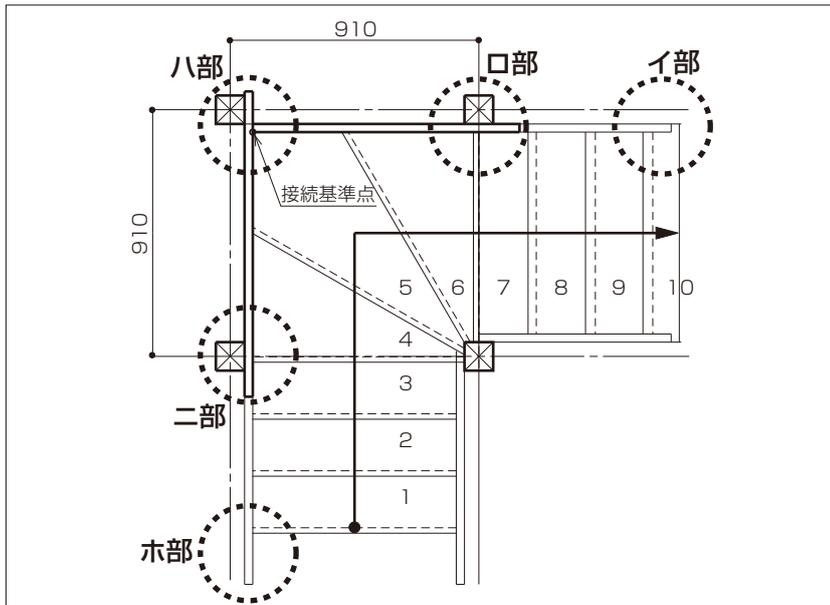
■二部詳細図

■木部詳細図



各部材の接合と納まり (蹴込柱芯)

■床—側板—廻り側板—廻り側板—側板—上階床

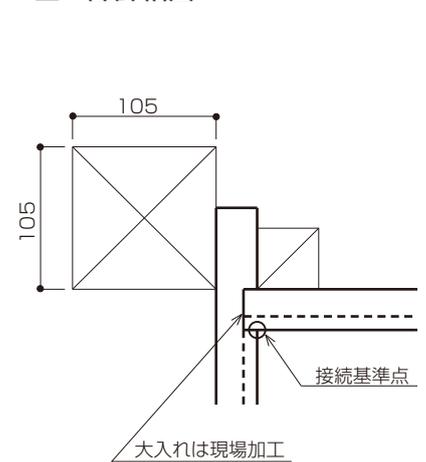
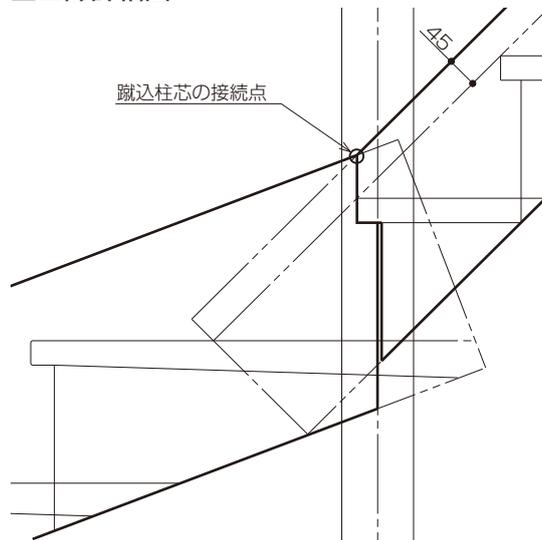
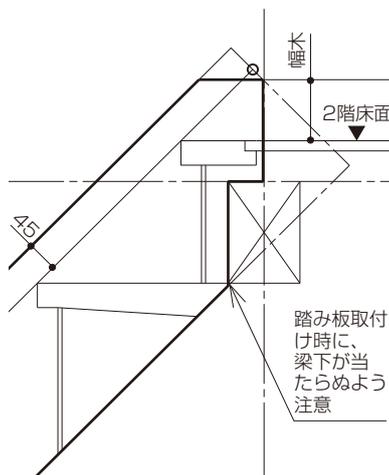


※納まり図は蹴込柱芯の場合の図を示しております。
※段鼻の設定位置によって、側板と廻り側板の接続位置は変わりますので、必ず躯体に墨出しして納まりを確認してから仕口の切断・加工してください。

■イ部詳細図

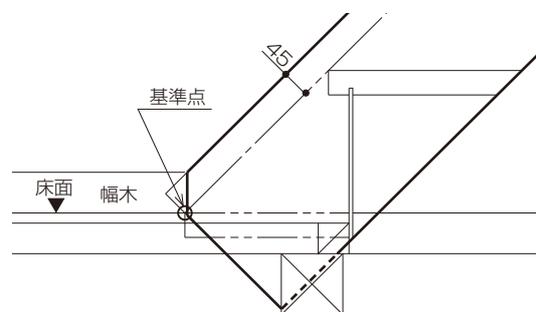
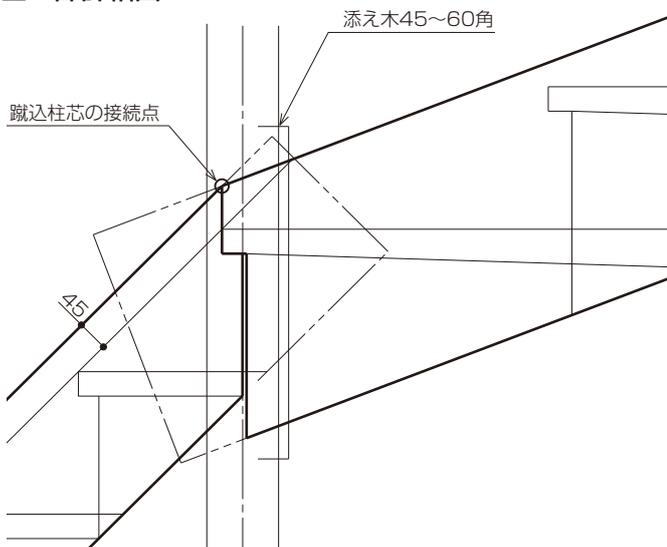
■口部詳細図

■八部詳細図



■二部詳細図

■木部詳細図



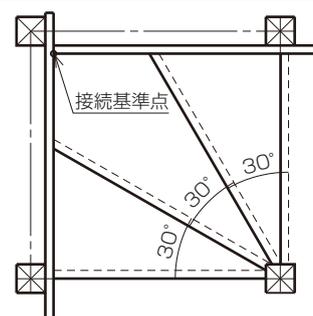
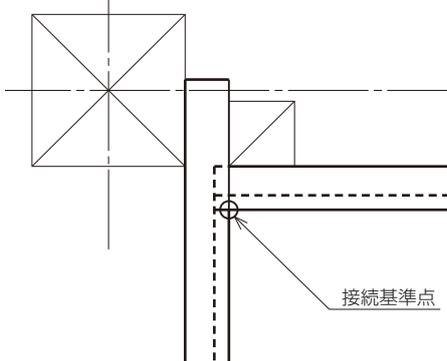
廻り側板の接合と接続基準点

※説明はすべて側板を階下から取付けた場合です。上階から取付ける場合は逆になります。

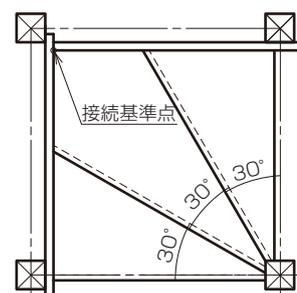
1 基本接合

- 接続基準点は、【廻り側板柱直付け・段鼻柱芯または蹴込柱芯】の場合側板内接面入り隅部となります。基本的に廻り側板の接続は基準点で接続してください。(図-1)
- ※ 基準点を挟んで上下の廻り側板は平行に加工されていますので、現場の納まりによって接続位置をずらしても接続できます。
- 壁厚調整や納まりの都合で、段鼻をずらしたり、廻り側板を柱面より内側へずらして取付ける場合には、次の方法を参考にしてください。

(図-1)



段鼻柱芯の場合

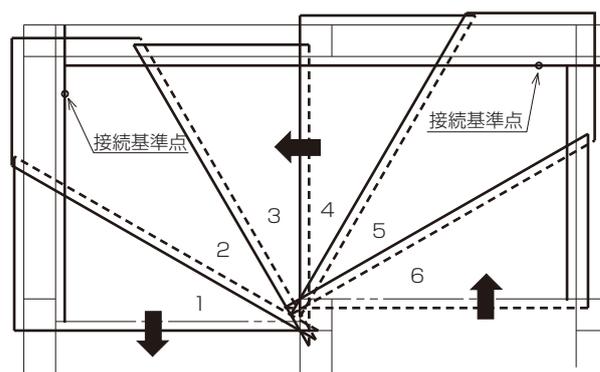
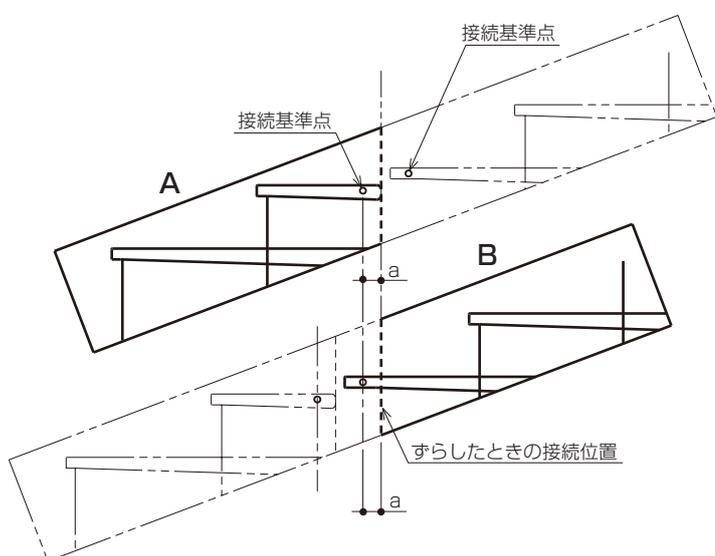
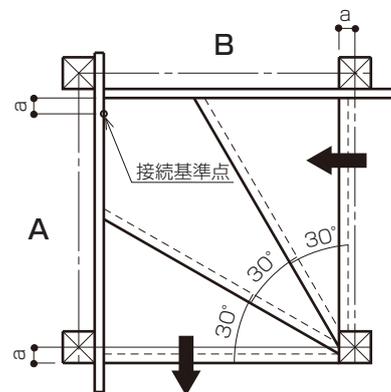
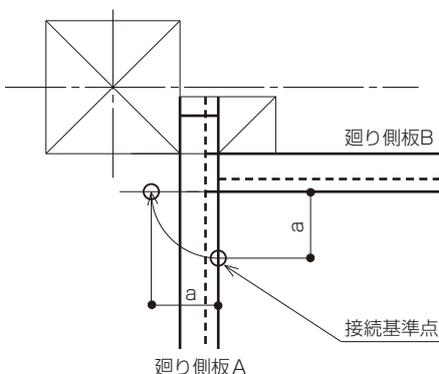


蹴込柱芯の場合

2 段鼻をずらす

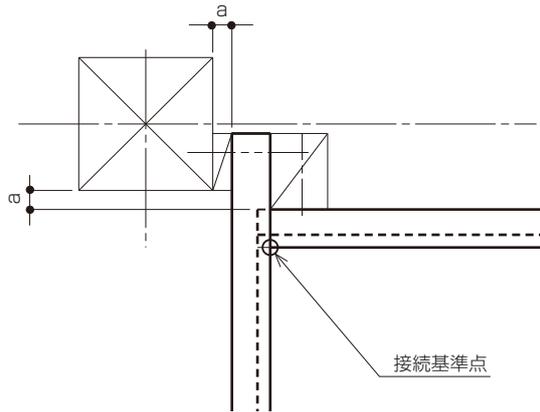
- 段鼻を柱芯から a 寸法(最大60mm)ずらして納める場合。(図-2) (3・6段廻り段鼻柱面納めなど)
- ※ 2・4段廻り是对应できません。この場合上下の段鼻は矢印方向へ a 寸法ずれ、接続位置は基準点から同方向へ a 寸法ずれます。又、矢印と反対方向にも、同様にずらすことができます。

(図-2)



3 柱面より内側へずらす

- 壁下地の厚さや、チリ寸法の都合で、図のように柱面から a 寸法ずらして取付ける場合。

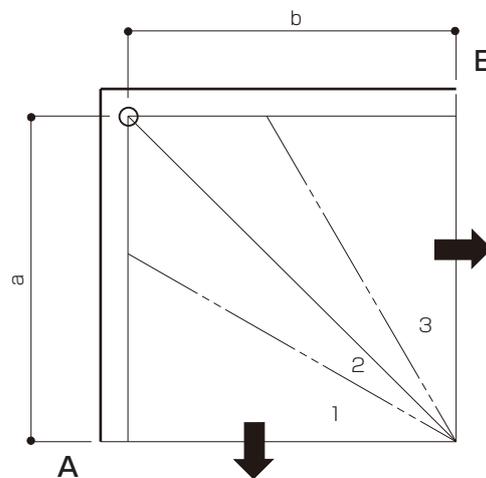


■2・3段廻りの場合

- 廻り踏板(1)(3)の段鼻は矢印方向へ a 寸法ずれますが、上下側板との接続側A・Bを基準点から同寸法 ($a = b$) となるように切断すると、段鼻は元の位置になります。

※2段廻りの場合は必ず ($a = b$) としてください。

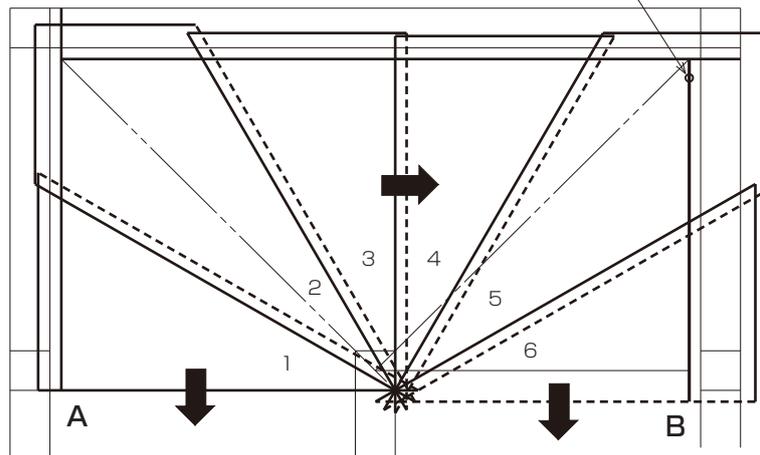
3段廻りは【**■P.72**段鼻をずらす】の方法でもできます。



こちら側の接続基準点はずれます。4段廻りの場合には、蹴込み溝の再加工が必要となります。

■4・6段廻りの場合

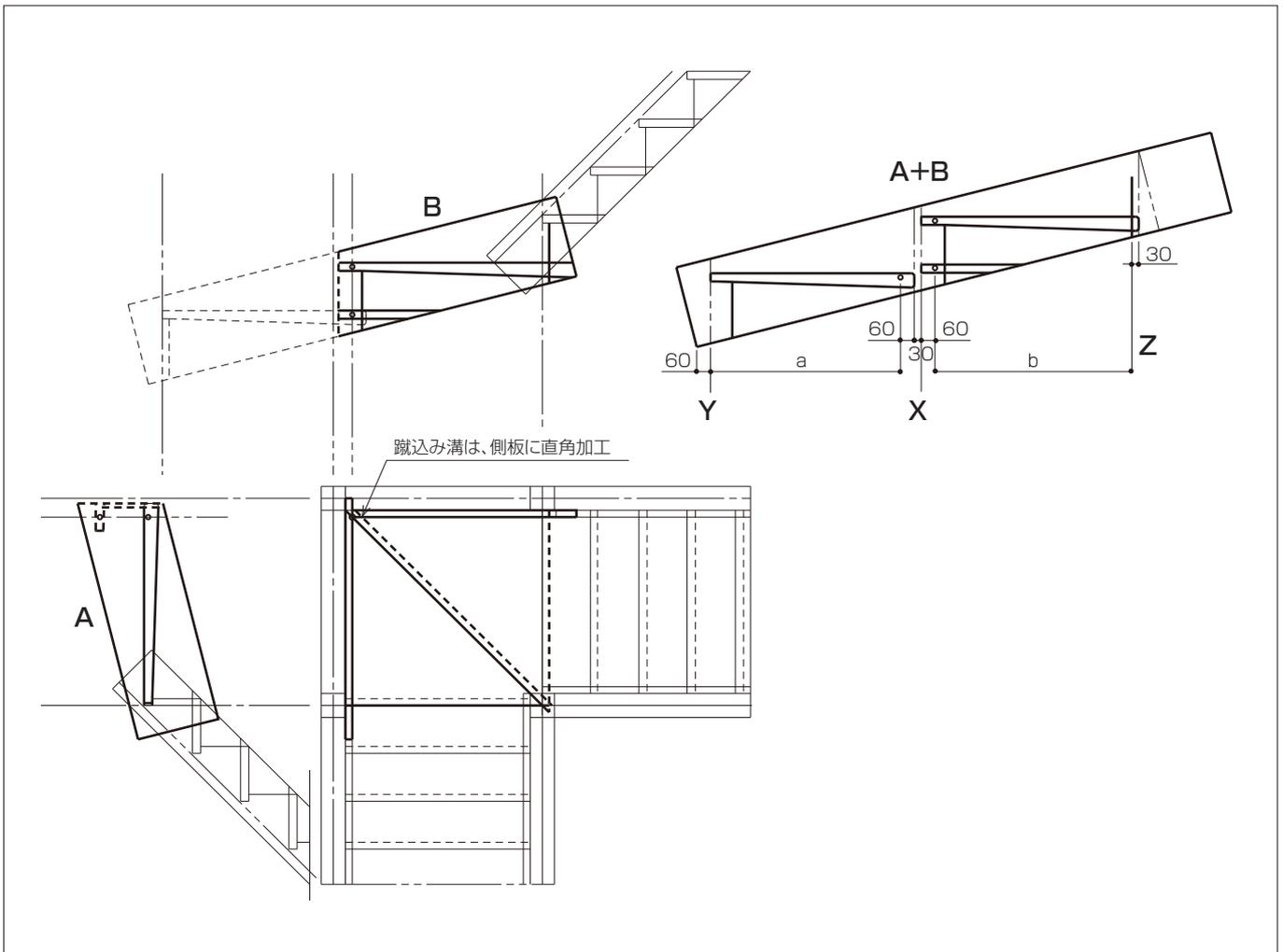
- 廻り踏板(1)(4)の段鼻は矢印方向へ a 寸法ずれ、廻り踏板(6)は↓方向に $4a$ ずれます。
- 上下側板との接続側A、Bを切断することにより、ズレを小さくします。



基本プランと取付けのポイント(一般例)

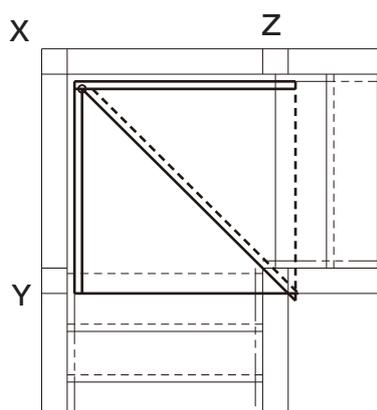
※説明はすべて側板を階下側から取付けた場合です。また納まり図は、段鼻柱芯で示しております。

1 2段廻り

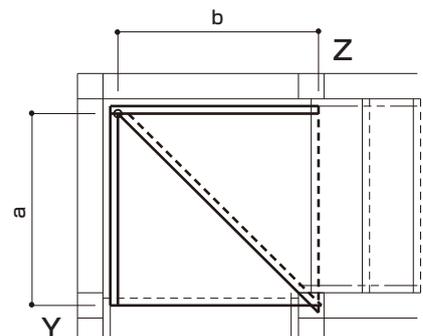


- 基準点接続の場合は、X部分で切断してください。
廻り側板の接続部分は、直付け・片木大入れなどの仕口によって再度加工してください。
- 廻り側板を柱面より内側へずらして取付ける場合は、基準点を変えないでください。(図-1)
段鼻位置を変えたい場合は、 $a=b$ となるようにY、Z側を均等に切断してください。(図-2)

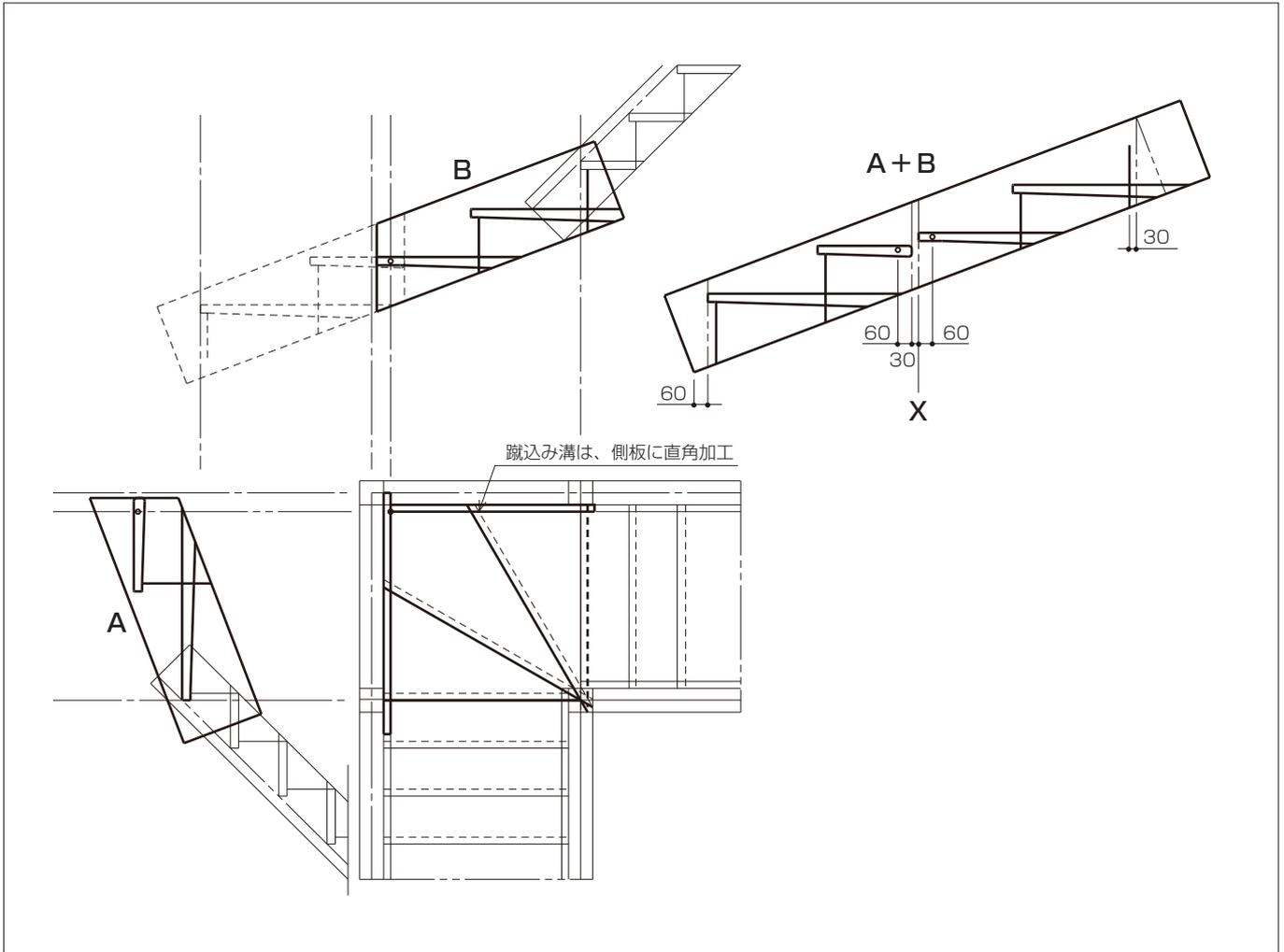
(図-1)



(図-2)



2 3段廻り



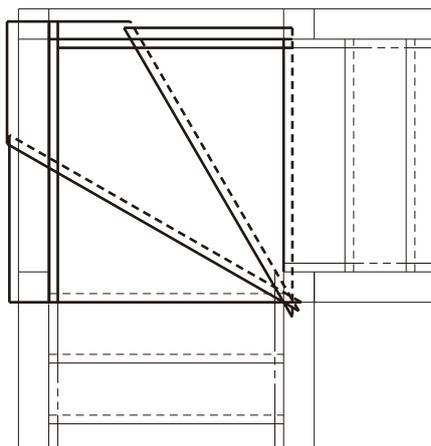
- 基本的には、段鼻柱芯または蹴込柱芯で基準点接続としてください。
- 基準点接続の場合は、X部分で切断してください。
廻り側板の接続部分は、直付け・片木大入れなどの仕口によって再度加工してください。
- 段鼻柱面納まりの場合は【**P.72**段鼻をすらす】の説明にしたがって切断してください。

(図-1)

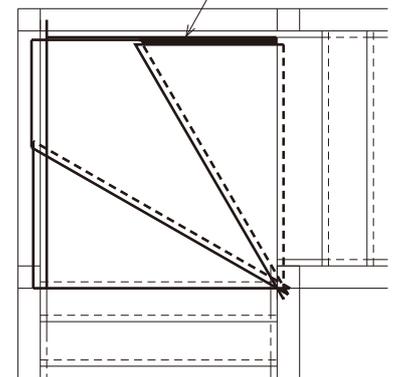
※柱間が集成タイプは芯々1150mm以上、ベーシックタイプは芯々1120mm以上の場合に、段鼻柱芯以外の納め方にしますと、踏板が廻り側板に届かなくなる場合がありますのでご注意ください。

(図-2)

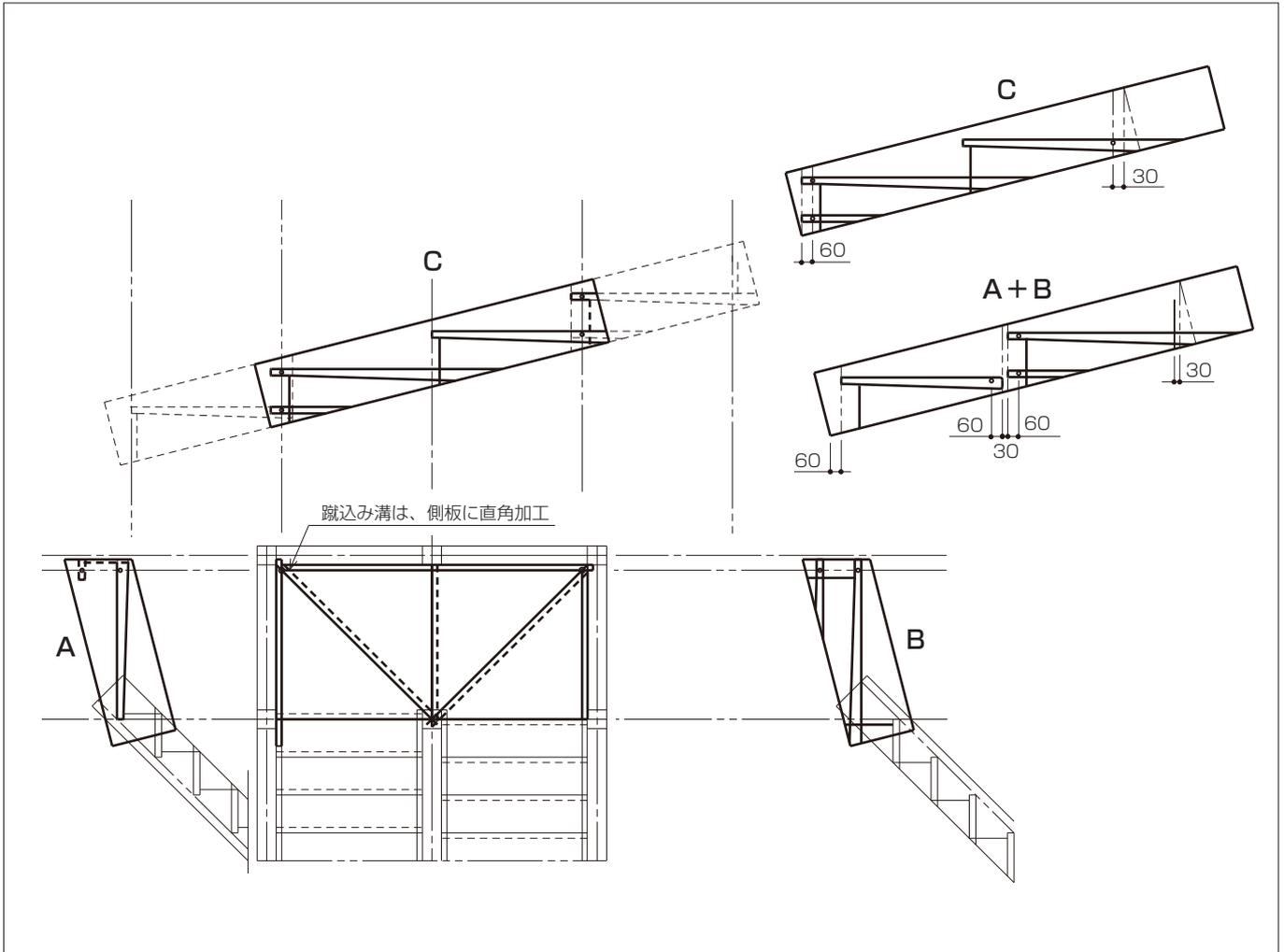
(図-1)



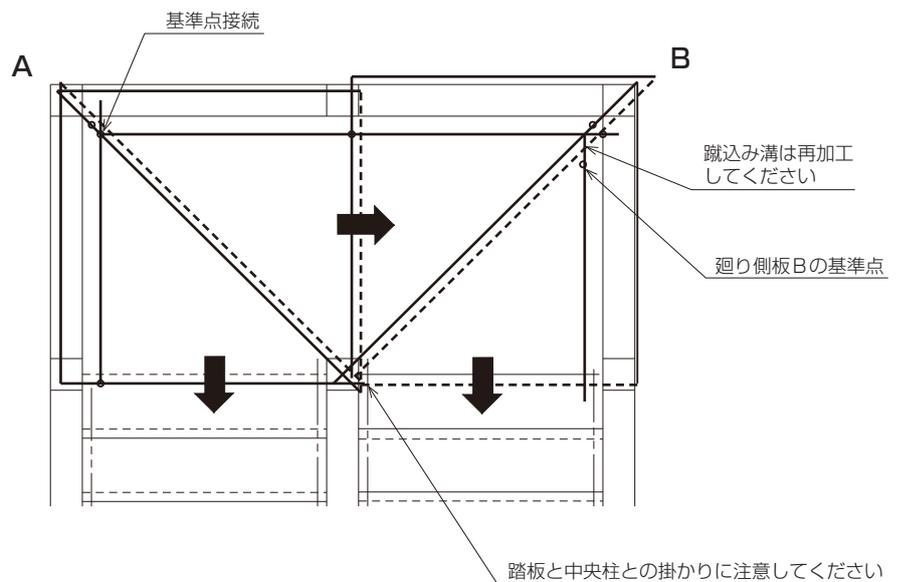
(図-2)



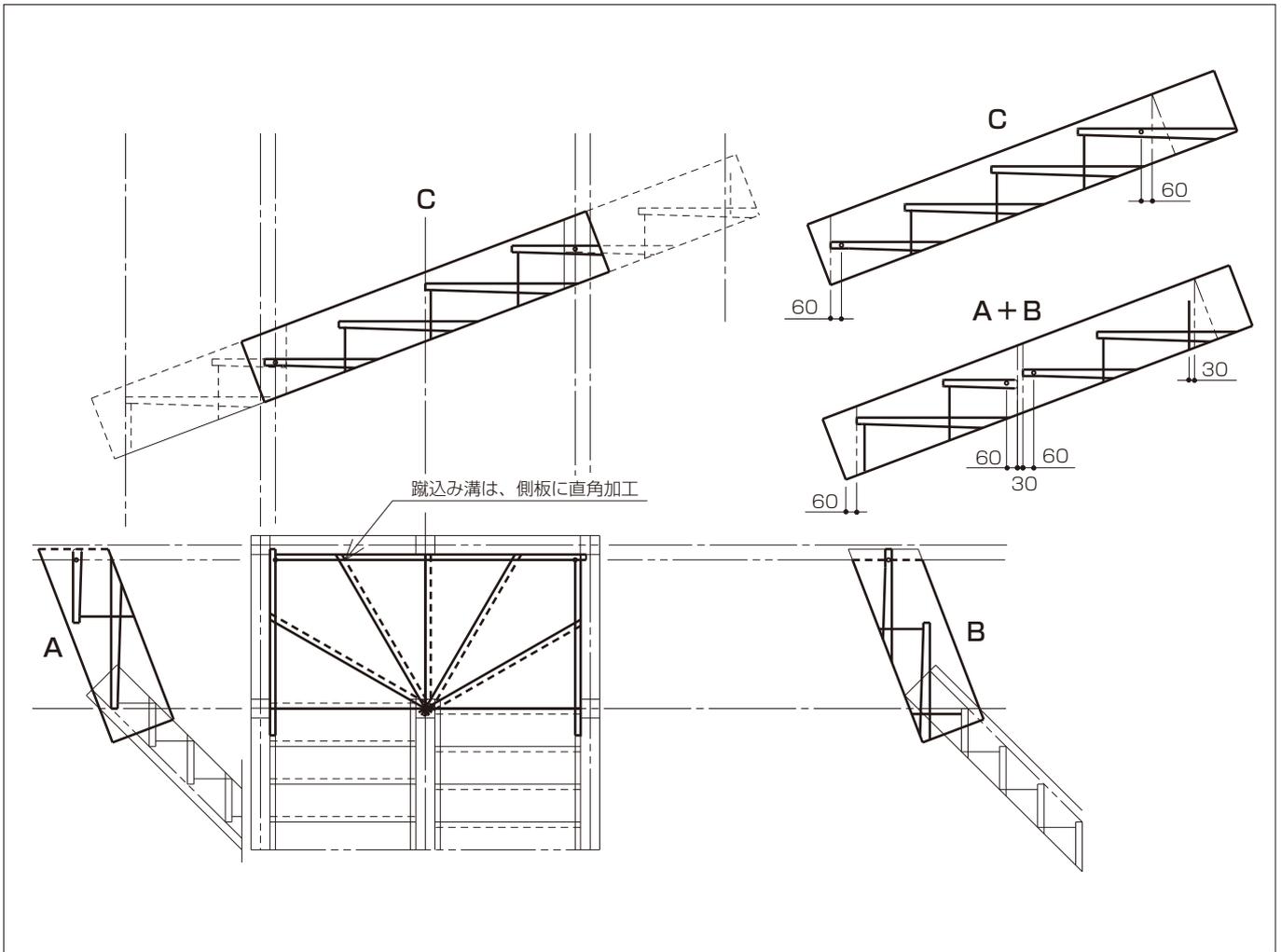
3 4段廻り



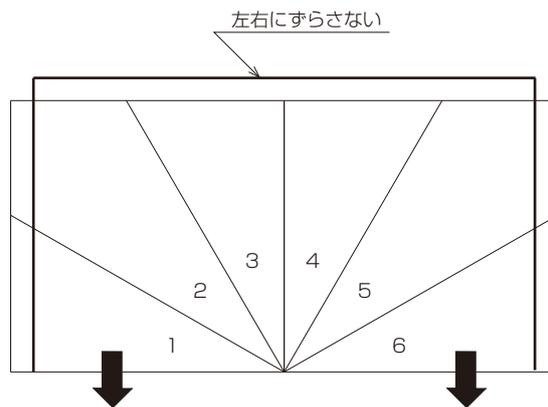
- 基本的には、段鼻柱芯または蹴込柱芯で基準点接続としてください。
 - 壁厚調整などのために廻り側板を柱面より内側へずらす場合、階下側接続位置Aは基準点接続とし、上階側接続位置Bは矢印方向にずらします。（【**■ P.83**柱面より内側へずらす】参照）
- ※廻り側板（A+B）を切離す際、切断位置に注意してください。



4 6段廻り



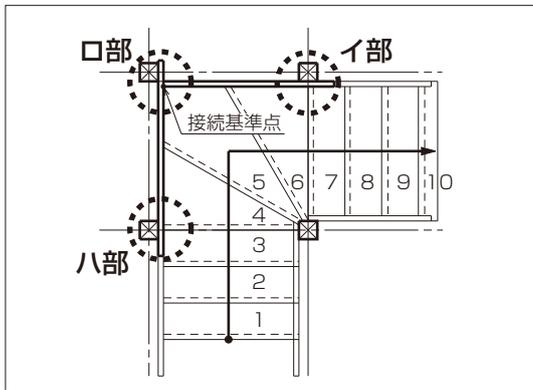
- 基本的には、段鼻柱芯または蹴込柱芯で基準点接続としてください。
- 段鼻柱面納まりの場合は【P.72段鼻をずらす】にしたがって切断してください。
- 壁厚調整などのために柱面より内側へずらす場合、上記の方法でもできますが、C廻り側板を左右にずらすとA・B廻り側板だけ側板方向にずらすも取付けられます。



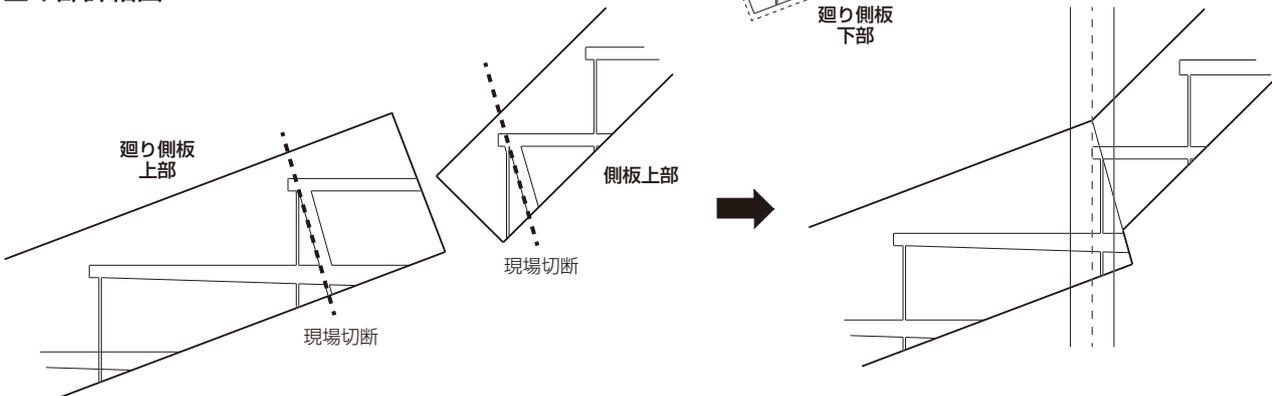
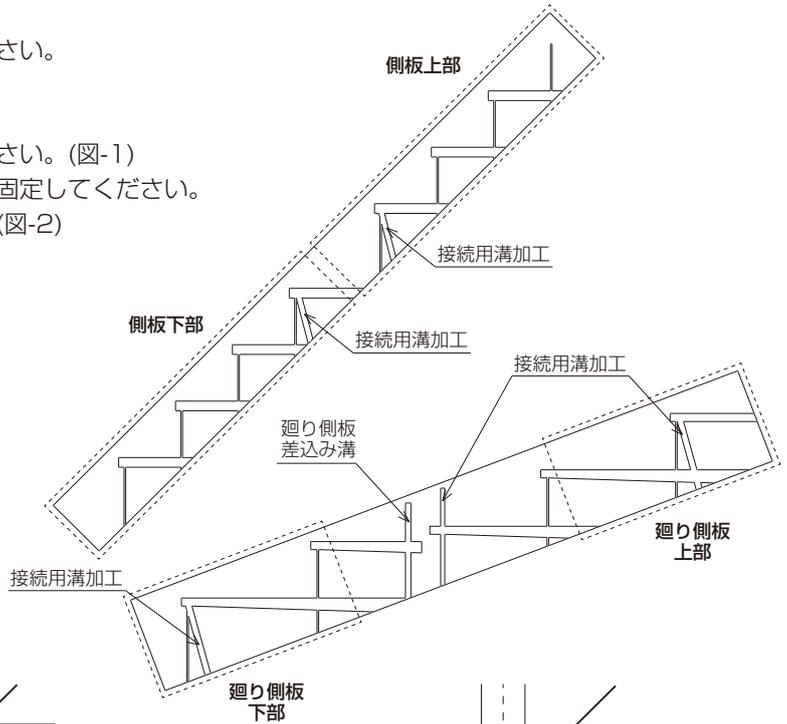
各部材の接合と納まり (段鼻柱芯)

側板・廻り側板の接続用溝加工を選択した場合

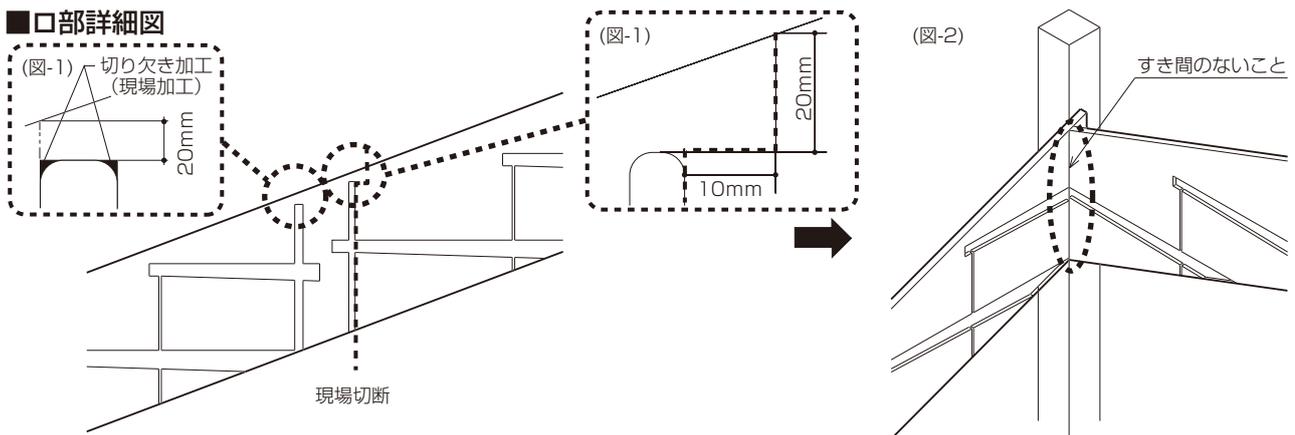
- 側板と廻り側板の接続加工
接続用溝加工に沿って部材を切断し、取付けてください。
- 廻り側板コーナー部の接続加工
 - ・接続用溝加工に沿って部材を切断してください。
 - ※差込み溝深さ分の切欠き加工も必ず行ってください。(図-1)
 - ・差込み溝加工に切断した側板を差込んで接続し、固定してください。
 - ※隙間が出ないように確実に差込んでください。(図-2)



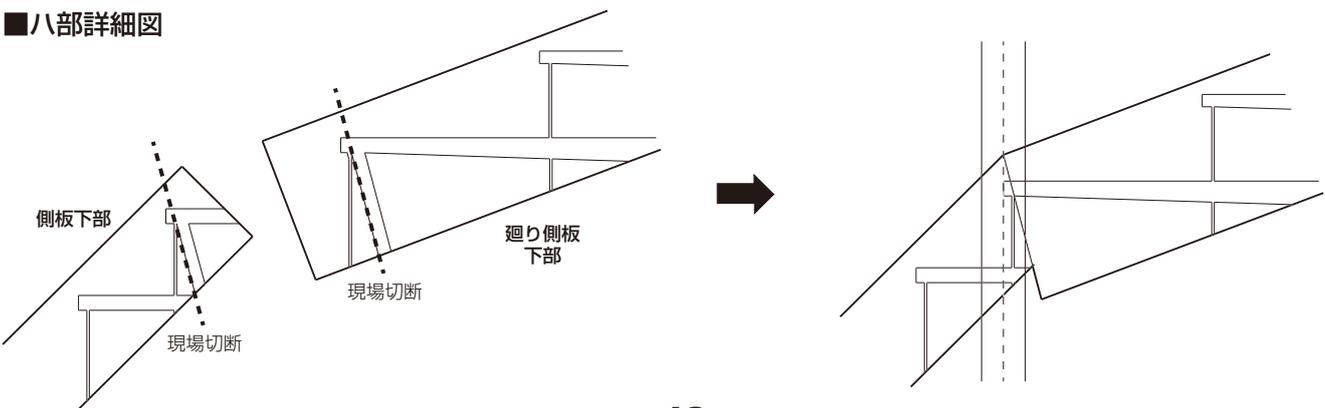
■イ部詳細図



■口部詳細図



■八部詳細図



株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社公式サイト「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAN-410B	事業所コード	CPZ1	2015.1.5 発行
------	----------	--------	------	-------------

